外耳炎とは？

外耳炎とは外耳の炎症であり、犬の耳の内側の皮膚が赤くなり、細菌感染または真菌感染が起こっている可能性があります。

外耳炎の原因

外耳炎は複数の因子が絡むことがよくあります。

・主な原因
草の種などの異物、耳ダニなどの寄生虫、環境アレルギーまたは食物アレルギーなど

・2次的な要因
炎症を引き起こし、感染症につながる可能性があります。

・外耳炎になりやすい耳
一部の犬では耳のサイズや形、耳道内の過剰な被毛、基礎疾患や頻繁な水遊びなどによって外耳炎になりやすい場合があります。

・外耳炎が悪化してしまう要因
犬が定期的に外耳炎にかかる場合は、外耳道が狭くなったり、鼓膜が損傷したりして、悪化する可能性があります。

オスルニア®

お名前：

1回目の投薬日：　/　/

2回目の投薬日：　/　/

治療効果の確認日：　/　/

治療する耳：

左耳　　右耳

犬用外耳炎治療剤　劇薬　指定医薬品

オスルニア®

We're all ears

耳の声に耳を澄ます

病院名

bah 物産アニマルヘルス

Dechra

2802AH HAB

bah 物産アニマルヘルス

オスルニア®を処方された飼い主様へ

外耳炎の治療について

犬用外耳炎治療剤　劇薬　指定医薬品

オスルニア®

We're all ears

耳の声に耳を澄ます

外耳炎はどのように診断されるのでしょうか？

耳鏡などを用いて犬の耳を調べると、外耳道を視覚化して、炎症や感染の兆候、および異物や耳ダニなどの外耳炎の原因を評価できます。
また、耳垢などのサンプルを採取して細胞診を行うこともあります。

細胞診とは何ですか？

細胞診とは、獣医師が犬の耳垢などを顕微鏡で調べることです。
獣医師は、細胞診を行って犬の耳に存在する感染症の種類を特定し、最も適切な治療オプションを選択できるようにする場合があります。

細胞診の結果

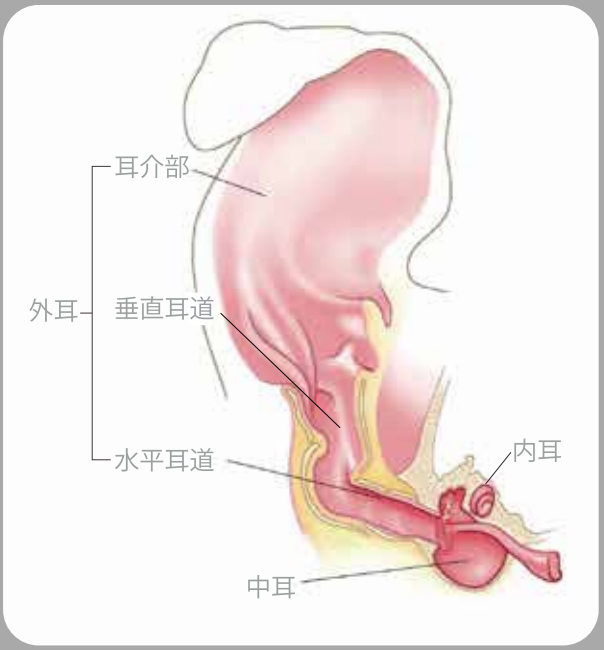
左耳			右耳		
	菌数（−〜+++）	グラム陽性/陰性		菌数（−〜+++）	グラム陽性/陰性
マラセチア		■	マラセチア		■
球菌			球菌		
桿菌			桿菌		
白血球		■	白血球		■

オスルニア®って何ですか？

革新的な外耳炎治療薬です。

- オスルニア®には以下の3つの成分が含まれています。
  - ◆フロルフェニコール：
    細菌感染を治療するための抗菌薬です。
  - ◆テルビナフィン：
    マラセチアの異常増殖を治療する抗真菌薬です。
  - ◆ベタメタゾン酢酸エステル：
    炎症や痛みを和らげる抗炎症薬です。
- オスルニア®は耳の中で長時間効果が持続します。
- 愛犬の外耳炎治療をより確実に快適にします。

犬の耳の構造



オスルニア®による治療スケジュール

1回目の投薬

ご自宅での耳の洗浄は必要ありません

2回目の投薬

ご自宅での耳の洗浄は必要ありません

推奨再々診日

特殊なゲルの薬剤が少なくとも35日間患部に留まり作用します。[1]

0日目
初診日

耳の洗浄と投薬があります

7日目
再診日

耳の状態のチェックと投薬があります

初診日から
28日目

治癒したかどうか病院でチェックして貰いましょう

1.Nuttall, T. and Forster, S. (2015) Terbinafine and florfenicol concentrations in the canine ear exceed minimum inhibitory concentrations for common otic pathogens after treatments with Osumia®, Proceedings of the British Veterinary Dermatology Study Group. Birmingham, UK; 91-94